

リニア中央新幹線長野県駅（仮称） 駅舎外観デザインについて

駅舎デザインに関する経過

- JR東海が建設するリニア中央新幹線長野県駅（仮称）駅舎の外観については、飯田市が行う駅前広場の計画等との調和に十分に配慮を行うとともに、長野県の南の玄関口としてふさわしい駅となるよう取り組むことをリニア中央新幹線促進長野県協議会より要請してきた。
- これを踏まえ、飯田市及び長野県は、JR東海、飯田市、長野県の3者による駅舎外観デザイン検討を行うことをJR東海に提案した。
- これに対し、JR東海は令和8年2月13日付で、駅舎外観デザインの3者による検討に同意し、飯田市及び長野県に対し、デザイン検討において参考とするキーワード・モチーフ※1を提出するよう要請があった。

※1 キーワードは地域の特徴を表現した文言、モチーフは地域の特徴がイメージできる画像など。

駅舎(外観・内観・機能・空間)デザインとは

- 駅舎デザインは、外観デザイン、内観デザイン、機能デザイン、空間デザインから構成され、その作成及び決定はJR東海が行う。

外観デザイン

外部に建物をどのように見せるか決めること
(形状、材質、色、周辺環境との調和 など)

内観デザイン

内部空間をどのように見せるか、どのような構成にするかを決めること
(空間構成、材質、配色 など)

機能デザイン

建物がどのような目的で利用されるのか、利用者が快適に過ごせるか
といった実用的な側面を計画すること
(利便性、安全性、耐久性、保守性、省エネ性、サイン計画 など)

空間デザイン

建物内外のあらゆる空間を、機能性、快適性、美しさのバランスを
考慮して計画すること
(人の動き、視線、音や光の届き方、ファニチャー、居心地のよさ)

※JR東海提供

駅舎デザイン検討の進め方

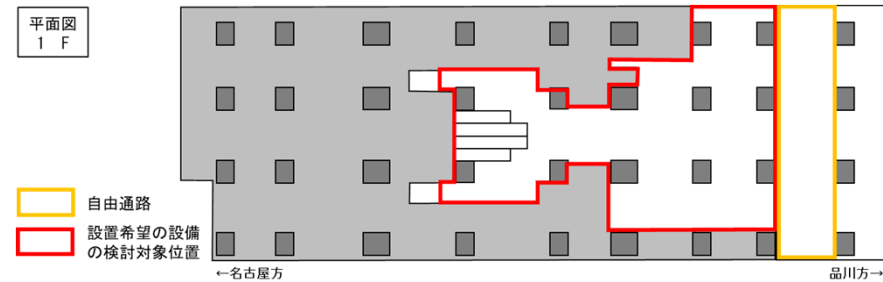
- 長野県・飯田市はJR東海が駅舎デザイン検討に際し参考となる、キーワード・モチーフ及び要望事項をJR東海へ提出する。
- 駅舎デザイン検討の参考となるキーワード・モチーフは、「飯田・リニア 駅前空間デザインノート」に基づき検討し、関係機関の意見を踏まえながら進める。
- JR東海が検討したデザイン案に対して、長野県・飯田市からの要望を実現するにあたり、追加の費用が必要となる場合には、協議をする。

外観デザイン検討の進め方 ①

駅舎外観デザインの検討について、下記のとおり進める。

年度	検討対象	J R	県・市 ※1	県協議会
2025			(提出)	要請書 (2025. 9. 26付)
		キーワード・モチーフ ※2 提出依頼	(依頼)	駅舎デザイン 検討開始公表
2026	外観 デザイン		キーワード・モチーフ 要望事項 (提出内容を公表)	(提示) (意見)
		複数の デザイン案	(提示)	
			県民アンケート (南信州地域)	
			推薦案 要望事項 (提出内容を公表)	(報告)
	デザイン決定			
2027以降	内観 機能 空間 デザイン	一つの デザイン案	(調整) ※3	自由通路のデザイン 設置希望の設備 ※4
	デザイン決定			

- ※1 県・市は、駅舎デザインの検討を目的に、リニア駅舎デザイン調整会議を設置する。
- ※2 キーワード・モチーフは市が作成した「飯田・リニア駅前空間デザインノート」に基づきとりまとめ、外観・内観・機能・空間デザインの検討に使用する。
- ※3 内観・機能・空間デザインの調整対象は以下の通り
(駅舎構造は調整対象外)
i 境界部デザイン (自由通路のデザインとの調和を図る)
ii 駅舎内観デザイン (自由通路のデザインとの調和を図る)
iii 動線計画 (自由通路と駅出入口の調和を図る)
iv サイン計画 (自由通路と駅舎内との調和を図る)
- ※4 自由通路の位置、設置希望の設備の検討対象位置は下図の通り



外観デザイン検討の進め方 ②

- JR東海は、複数の外観デザイン案を作成し、長野県・飯田市に提示する。この案は、長野県・飯田市が提出したキーワード・モチーフ及び外観の要望事項が反映されたものとする。
- 長野県・飯田市は、JR東海から提示された複数の外観デザイン案から、地域の意向を取りまとめて一案を推薦する。その際、長野県・飯田市の費用負担が生じず、JR東海が追加の費用を必要としない範囲で、最大限魅力ある外観デザインを実現するための要望事項を追加でJR東海に提出する。

外観デザイン検討体制

外観デザイン検討体制

● リニア駅舎デザイン調整会議

- ・ 駅舎デザインの検討を目的に、長野県リニア整備推進局及び飯田市リニア推進部が設置する。
- ・ 検討にあたっては、アドバイザーとして有識者を招集する。

○検討主体	
長野県建設部リニア整備推進局	
飯田市リニア推進部	
○アドバイザー	
氏名	役職
岸井 隆幸	一般財団法人 計量計画研究所代表理事
北川原 温	東京芸術大学名誉教授

● 県協議会

- ・ 以下の会員にキーワード・モチーフ・外観の要望事項の意見照会を行う。
市長会、市議会議長会、町村会、町村会議長会
農協中央会、経営者協会、中小企業団体中央会、商工会議所連合会、商工会連合会
諏訪地区同盟会、上伊那地区同盟会、飯伊地区同盟会、木曾地区同盟会
青年会議所連盟

外観デザイン対象範囲

南側広場から駅自由通路方面を望む

駅、広場等はイメージであり、今後の検討により変更される可能性があります。



駅舎外観デザイン対象範囲

※JR東海提供

外観デザインの検討方針

- リニア中央新幹線長野県駅（仮称）の駅舎外観デザインについては、駅前広場のデザインと調和し、長野県の南の玄関口としてふさわしい駅舎の外観となるようJR東海、飯田市、長野県の3者が連携して検討を進める。
- 飯田市は駅前広場計画等との調和を図る観点から検討し、長野県は広域的な観点から関係機関の意見を取りまとめ、検討を進める。
- JR東海は地元から提出されたキーワード・モチーフを参考に、駅舎外観デザインの作成及び決定を行う。

デザインコンセプトは「豊かな自然の懷に抱かれたやすらぎの駅」

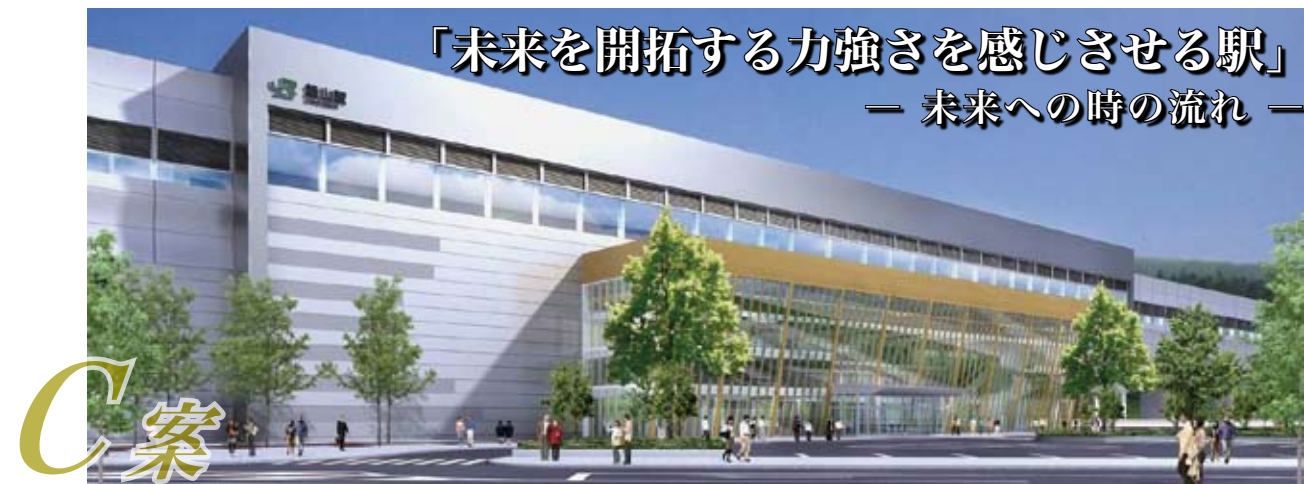
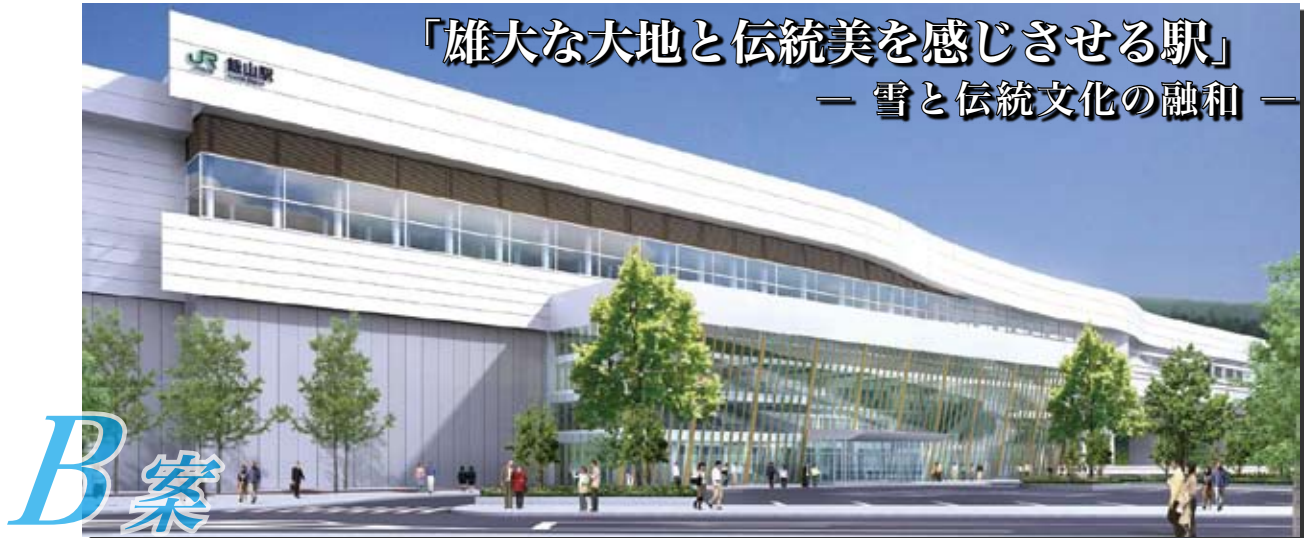
市報8月号
別冊

鉄道・運輸機構から

新幹線飯山駅デザイン3案が提案

飯山市の推薦デザイン決定にあたり、皆様のご意見をお聞かせください。

市報8月号2ページに掲載の新幹線飯山駅新駅デザインをカラーでご覧いただくため、市報別冊を発行いたしました。飯山市の顔となる新駅のデザインを皆さまもご覧いただきご意見をお聞かせください。
(A・B・Cの案は、順位を示すものではありません)



【意見募集方法および募集期間】 ■募集期間：平成22年8月11日～平成22年9月3日

■郵送・持参：飯山市大字飯山 1110-1 飯山市都市計画課 ■FAX:62-6221 ■電子メール：toshikei@city.iiyama.nagano.jp

■ホームページの<応募フォーム>：飯山市ホームページ <http://www.city.iiyama.nagano.jp/> の新着情報から

構想 ~ 設計までの経過

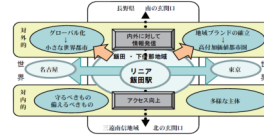
飯田市のまちづくり

- ・飯田市土地利用基本方針 (平成19年7月)
- ・飯田市環境基本条例 (平成9年4月)



リニア将来ビジョン (南信州広域連合/平成22年11月)

- リニア将来構想検討会議
- ・有識者会議 (有識者、首長)
- ・検討会議 (住民など)
- ・ワーキンググループ (住民など)



国・県の計画

- ・国土のグランドデザイン2050 (国土交通省/平成26年7月)
- ・長野県新総合交通ビジョン (長野県/平成25年3月)
- ・長野県リニア活用基本構想 (長野県/平成26年3月)

平成25年9月 駅位置の公表

リニア駅周辺整備基本構想 策定 (平成27年6月)

- ・リニア駅周辺整備基本構想検討会議 (有識者、地元住民の代表者、経済団体、地元事業者)

リニア駅周辺整備基本計画 策定 (平成29年6月)

- ・リニア駅周辺整備検討会議 (4つの部会 (交通・魅力発信・環境・交流人口) に分かれて検討)
- ・市民説明会、市民からのアイデア募集 (アイデア・意見は検討会議にフィードバック)

ワークショップの様子



リニア駅前空間デザインノート (令和元年12月)



リニア駅前空間 基本設計 (令和元年12月)

- ・リニア駅周辺整備デザイン会議 (学識者、地域代表、関係機関・団体による会議)
- ・リニア駅周辺整備ワークショップ (延べ150名の市民の皆様に参加いただき意見交換を実施)
- ・「飯田・リニア駅前空間デザインノート」の発行

リニア駅前空間デザインノート2024 (令和6年4月)



リニア駅前空間 土木実施設計 (令和4年12月)

- ・現地調査 (地盤、地下水等)、地元との調整 (農業用水等)、関係機関との協議 (河川協議等)
- ・報告会、意見交換会、「飯田・リニア駅前空間デザインノート2024」の発行

デザインノートをもとにキーワード・モチーフを作成